

越谷市立北越谷小学校

茶の湯体験



第6学年

特色

- 地域にお住まいの表千家教授の方のご厚意と地区センターの協力のもと、毎年6年生が体験を実施している。
- 地区センターの一室を茶室に見立てて、掛け軸や生け花、茶器等、すべて本物を使用して、茶室への入り方や作法、日本の文化や日本人のもてなしの心をその道の優れた指導者から直接学んでいる。

児童の感想

- 茶の湯を体験して、お茶の道具のことや、歴史のことなどを学ぶことができた。
- 作法などを学ぶことで、日本人の昔からの考え方を知ることができて、とても良かった。
- 畳の部屋で学習して、しゃきっとした気持ちになった。

成果

- 茶の湯を通して、日本の伝統文化に直接触れることで、古くから伝わる日本文化の素晴らしさや、日本人のもつ「おもてなしの心」や「奥ゆかしさ」を考えるきっかけとなった。
- 6年生は、国語で狂言「柿山伏」を、社会で日本の歴史を学習しているが、体験が学習への意欲や関心の向上につながった。